

いわて県連だより

【第94号】 発行日：2026年7月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会



自民党

大槌町林野火災に係る中央省庁要望



自由民主党岩手県支部連合会・県議会自由民主党は七月六日、大槌町林野火災からの早期復旧・復興に向け、党本部および関係省庁に対し要望活動を実施しました。

要望では、被災者への生活支援や事業者支援、林業・農業の復旧、森林再生などについて国の支援を求めました。

総務省消防庁では大沢博長官、農林水産省では山本啓介大臣政務官、内閣府では、あかま二郎特命担当大臣、党本部では鈴木俊一幹事長にそれぞれご対応いただき、要望内容について意見交換を行いました。

県連では、被災地の一日も早い復旧・復興に向け、引き続き関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

都道府県議会議員全国研修会

七月六・七日、来年の統一地方選挙に向けて、都道府県議会議員全国研修会が党本部で開催されました。全国から250人を超える党所属都道府県議員が集まり、岩手県からは白澤勉幹事長をはじめ、他六名の県議が参加いたしました。

研修では、伊吹文明元衆議院議長が基調講演を行った他、小林鷹之政務調査会長から「今後のわが国の在り方について」、新藤義孝党憲法改正実現本部事務総長による「憲法改正に向けた党の決意」、自民党新ビジョン策定本部の齋藤健座長から「党の使命について」ご講演いただきました。

二日目は分科会にわかれ、各分野の専門家に主要政策を説明していただきました。研修を通じて、党本部と都道府県連が一丸となり、必勝に向けた決意を改めて共有する有意義な研修となりました。



【女性局】 児童虐待防止全国一斉街頭活動を実施



七月九日、女性局は県内二か所で街頭演説を行いました。これは、党女性局政策活動「子どもHAPPYプロジェクト」の一環として、平成二十二年から始まった児童虐待防止啓発活動「ハッピーオレンジ運動」の全国一斉街頭演説会に合わせ、実施したものです。

盛岡市玉山区では、竹田浩久盛岡市議会議員とともに辻立ちを行いました。その後、花巻市に移動し、県内各地から集まった女性局員に加え、

佐々木宣和県議が参加し、児童虐待の早期発見・早期対応の重要性を訴え、「虐待かも？」と感じた際には、児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちちはやく）」へ相談するよう呼びかけました。

今後子どもたちの笑顔と命を守るため、地域と連携した啓発活動を継続し、安心して子どもが育つ環境づくりに取り組んでまいります。



みんなの横顔 ②①

岩手県議会議員 佐々木 茂光さん



震災から15年、私はその時から県議として盛岡に来るようになった。それまでは市議会議員・漁業を生業にしていた。

議員になったきっかけは、「地域の声・思いが行政・政治に届いていない。」と感じ、自分が声をあげなければと思ったからである。

「聞く・見る・動く」を軸に、まさに「我らが声を県政に！国政に！！」をモットーに活動をしている。

答えは現場に限りなくある！震災復旧・復興と内陸と沿岸部の格差解消に向け、地域の声を行政に届け、現場と行政、双方のかけ橋となるよう今後も取り組んでいく。

